

# 原町第三小学校便り

令和5年度 第2号（5月号）

文責：原町第三小学校長 林 典行

## タケノコのように成長しよう～さまざまな経験を通して～

5月の大きな学校行事である運動会も無事終了しました。子どもたちは日頃の体育の学習で学んできたことを生かして、徒競走チャンスレース、団体競技、表現活動に取組み、当日すばらしい演技を披露してくれました。

さて、実業家・タレントとして有名な某氏が、「かけ算なんて計算機でできる。このスマホ時代に学校に行くのは時間の無駄ではないか。」と述べられていました。もちろんその方は社会性の涵養そのものを否定しているのではなく、それについては学校以外でも代替できるのではないかという考えをお持ちであることも付け加えておきます。

果たしてそうでしょうか。子ども一人一人が多様な側面を持っています。運動が得意な子がいれば、逆に苦手で運動会自体待ち望んでいなかった子もいたかも知れません。運動会当日、入賞して喜ぶ子、転んで悔しがる子、あまりよいカードを引くことができずに泣いてしまう子、悲喜こもごもの情景が繰り広げられました。

まさしく「人生山あり谷あり」です。学校という集団生活を通しての様々な成功体験や失敗体験が人を強くしたり高めさせたりする契機になります。教職員は、運動会当日はもちろん、運動会を迎えるまでの過程のなかで、子どもたち一人一人の特性に応じた成長をいかに促そうかということを念頭に入れ指導・支援を進めてきました。我々の目指す教育が、画一的で結果だけを追い求めるものならば、子どもたちにとって某氏の言うとおりの苦痛な空間（時間）になることでしょう。

一人ひとりの子どもたちが、自分の持ち味を見つけ、伸ばし、活躍する、そのような環境や経験できる場の提供こそ、学校教育が果たす大きな役割であると考えております。



## 感謝 ～PTA役員の皆様～

運動会の準備・運営・後片付け等に関して、多くのPTA役員の皆様のご協力により、スムーズに執り行うことができました。特に今年度は、前日、駐車場となる祭場地に、駐車位置の目安となるテープを張るなどの準備作業をしていただきました。また、当日は張ったテープの位置や順番に合わせながら自動車を誘導してくださったことにより、整然と駐車することができ、会場へ向かう歩行者の安全も確保されました。運動会終了後、ほとんど混雑することも渋滞することはありませんでした。

運動会会場でのご協力だけでなく、目に見えないところで様々なご配慮をいただきましたこと感謝申し上げます。今後ご支援の程よろしくお願いいたします。